

令和 2年度予算見積調書

課室名：医療人材課
 担当名：看護・医療人材担当
 内線：3532 (単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B64	在宅医療を担う幅広い分野の看護師確保・育成事業費		一般会計	衛生費	医薬費	保健師等指導管理費	看護指導費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令			宣言項目	02 健康・医療・介護の安心確保		
					分野施策	010205 地域で高齢者が安心して暮らせる社会づくり		
1 事業概要 在宅医療の更なる推進のため、訪問看護や介護施設の看護師の研修体制を充実する。			5 事業説明					
(1) 訪問看護師育成プログラム普及事業 2,768千円 (2) 高度な医療に対応する訪問看護師育成事業 4,770千円 (3) 医療事務研修事業 890千円 (4) 訪問看護ステーション体験実習事業 2,460千円 (5) 介護施設への認定看護師派遣事業 4,030千円			(1) 事業内容 ア 訪問看護師育成プログラム普及事業 2,768千円 平成28年度に策定した「新卒者等訪問看護師育成プログラム」の研修メニューのうち、単独の訪問看護ステーションでは対応できない合同研修などを開催する。 (ア) 新人訪問看護師職場定着のための合同基礎研修 (イ) 指導者育成研修、OJT実施方法の支援 (ウ) プログラムの改訂 イ 高度な医療に対応する訪問看護師育成事業 4,770千円 末期がん等の医療依存度の高い患者に対応できる高度な訪問看護師をOJTにより育成 (ノウハウのある訪問看護ステーションで2か月以上のOJTを実施した事業者に対し、53万円を上限に補助) ウ 医療事務研修事業 890千円 適正な保険請求を行うため、診療報酬請求に関する研修を実施する。 エ 訪問看護ステーション体験実習事業 2,460千円 中・高校生、看護学生、潜在看護師、病院看護師など訪問看護に興味を持つ幅広い看護師等を対象に現場体験実習を実施し、訪問看護への理解を深め、訪問看護ステーションへの就職につなげる。 オ 介護施設への認定看護師派遣事業 4,030千円 介護施設に必要な高度な専門知識（認知症看護、皮膚・排泄ケア、感染管理、摂食・嚥下、緩和ケア等）を持つ認定看護師を派遣し、そこに勤務する看護師の看護技術の向上を図る。					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)			(2) 事業計画 ア 訪問看護師育成プログラムの普及事業 (前期) 4月～9月 (後期) 10月～3月 イ 高度な医療に対応する訪問看護師育成事業 年間 9事業者 (9人以上の育成) ウ 医療事務研修事業 県内2地区 (さいたま市、川越市) エ 訪問看護ステーション体験実習事業 体験実習参加者 230人 オ 介護施設への認定看護師派遣事業 認定看護師派遣施設 100か所					
3 地方財政措置の状況 なし			(3) 事業効果 訪問看護師や介護施設の看護師の質の向上により、幅広い分野の在宅医療の充実を図る。					
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円								
予算額		財 源 内 訳						
		繰入金					一般財源	前年との 対比
決定額	14,918	14,918					0	△2
前年額	14,920	14,920					0	